

## ② 造作枠のゴミ等を取り除く

ホウキやハケ、掃除機などで掃除して下さい  
異物やゴミ・ホコリがあるとスムーズに動きにくくなります

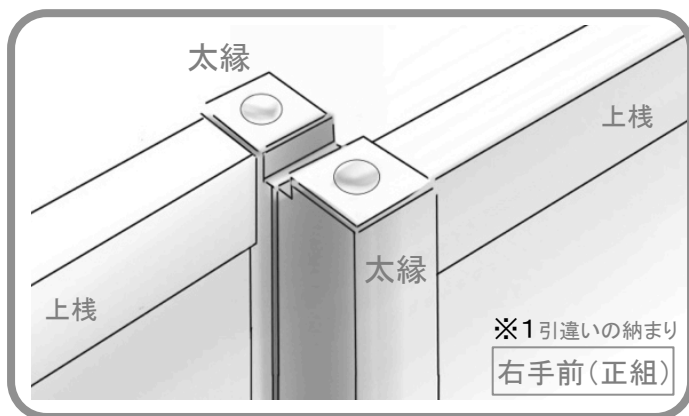
## ③ 敷居スベリを貼る場合も

※一般的には既に貼られていることが多い

⚠ カッター等の扱いにご注意下さい

⚠ 梱包開封の際はカッター等の扱いにご注意下さい  
製品上破損しやすい部分がありますのでご注意ください

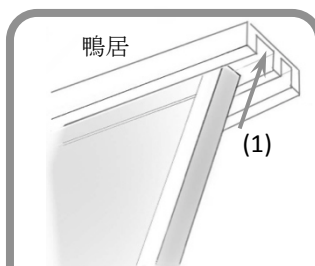
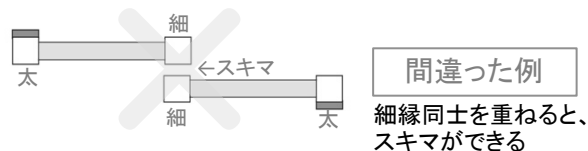
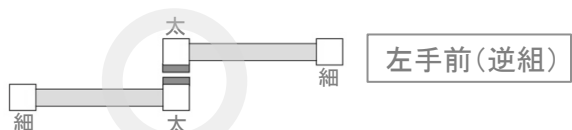
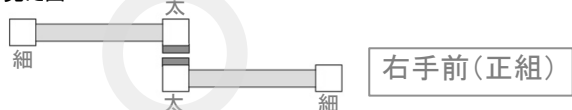
## ① 本体と調整用板紙 (ふすま1枚につき2枚) を確認する



## ④ 引違いの場合の納め方

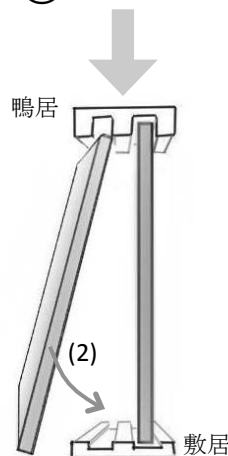
右側のふすまが手前になる納まりを【正組】といいます。  
間取りによっては逆の納まりの【逆組】もあります。

上から見た図



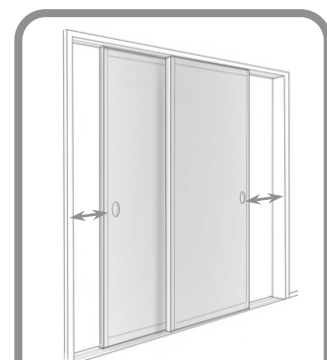
(1) 鴨居の溝に  
ふすま上部を奥まで差込む

## ⑤ 取付ける



(2) 敷居の溝に  
ふすま下部を落とし込む

⚠ 万一、両サイドにすき間がある場合は、裏面をご参照下さい



## ⑥ 開閉を確認

左右にスムーズに動くか  
ご確認ください

開閉しにくい場合

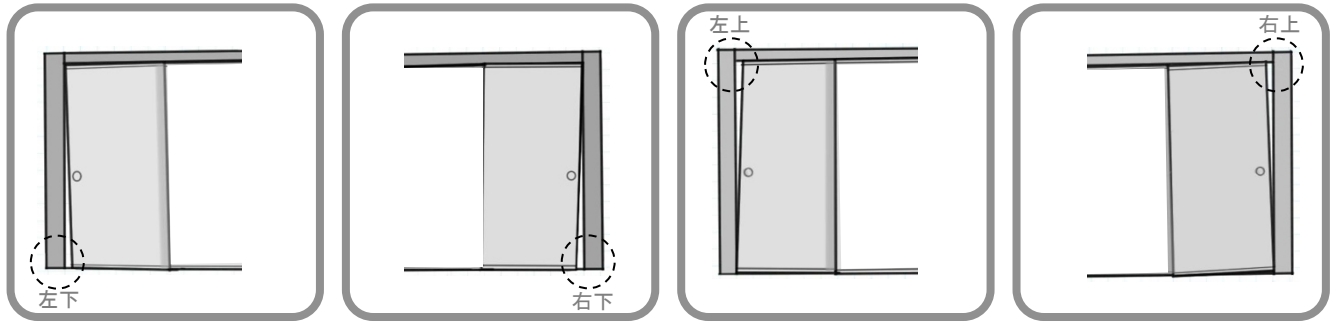


鴨居や敷居にローヤや敷居用滑走剤などを塗ると改善されます。  
ペンタイプ敷居用滑走剤「スベルワン」をご希望の方は下記へ

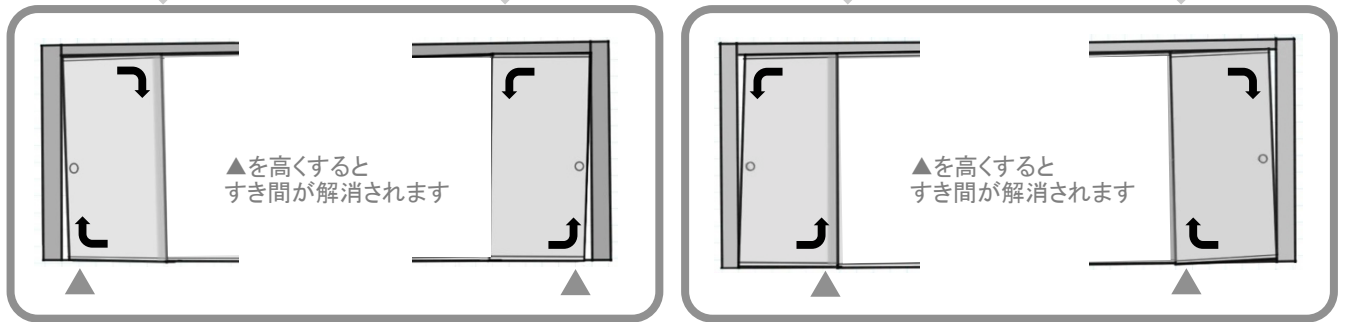
① すき間の位置を確認

すき間が「下」にある場合

すき間が「上」にある場合



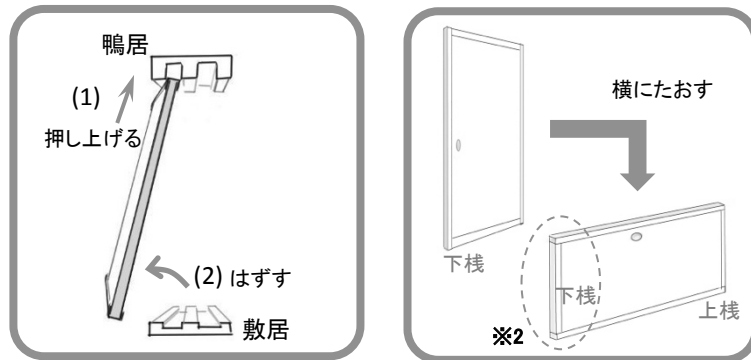
② 調整必要部位を確認



▲に調整用板紙を入れ高さを増して「ふすまを起こす」

▲に調整用板紙を入れ高さを増して「ふすまを寝かす」

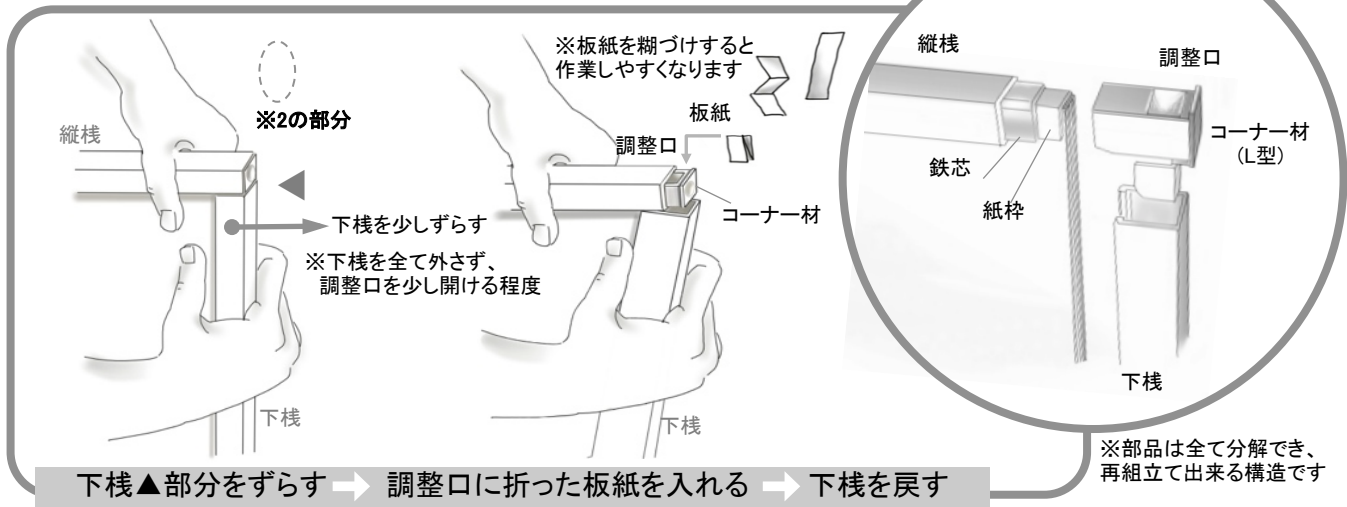
③ ふすまをはずす



ふすまを横にたおすと  
高さ調整作業がしやすくなります

⚠ たおす際は家具等にぶつからないよう  
ご注意ください

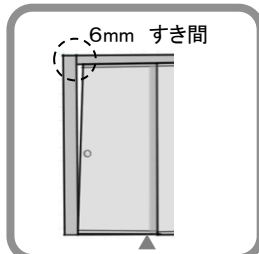
⑤ 高さを調整する



下棧▲部分をずらす → 調整口に折った板紙を入れる → 下棧を戻す

※部品は全て分解でき、  
再組立て出来る構造です

⚠ 建築躯体や木枠(造作材)の  
経年変化により、  
ふすまと木枠(造作材)の間に  
すき間が生じる場合があります。



すき間の半分の寸法が、  
▲を調整する高さの目安  
(例)すき間6mmの場合は、  
その半分3mm(板紙3枚)を入れる

※調整用板紙を付属しておりますが、調整範囲を超える場合があります  
※調整用板紙は、一般的な板紙や厚紙もご利用頂けます